





**田中 友希乃ちゃん**(佐間)  
父・俊介さん 母・美由紀さん  
平成23年4月1日生まれ  
「笑顔が笑顔をつなげてゆ〜♡」



**大澤 成海ちゃん**(長野)  
父・真吾さん 母・梨恵さん  
平成23年4月13日生まれ  
「嫁にはやらん♡父」



**山口 玲偉ちゃん**(齋条)  
父・貴雄さん 母・絵美さん  
平成23年4月22日生まれ  
「心のダイヤモンドを大切に☆」

はじ め ま し て



**高澤 舞桜ちゃん**(長野)  
父・昌史さん 母・恭子さん  
平成23年4月13日生まれ  
「かわいい女の子です。」



**浜田 大晟ちゃん**(清水町)  
父・和宏さん 母・里美さん  
平成23年4月15日生まれ  
「元気に育ってね♡」

平成23年6月生まれのお子さんを募集します

○4月2日(月)~27日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。



○応募者多数の場合は、5月7日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。

さわやか サークル

キアラ-11

～心に響く鳴子の音～



高知県のよさこい祭りです。使う楽器「鳴子」と、北海道の民謡「ソーラン節」を融合させた「よさこいソーラン」。毎月第1・3月曜日の午後7時30

分から9時まで、コミュニティセンターみずしるで、鳴子を手に威勢の良い踊りを披露しているのが「キアラ-11」の皆さんです。  
平成21年7月に荒木地区の方が結成した同クラブ。クラブ名は、「荒木」を並べ替えた「K-I-A-R-A」に、同年11月から蓮沼富久恵先生を講師に迎え、本格的に活動を始めたことを記念して「11」を付けたことが由来となっています。迫力のある踊りや、カタンカタンと音が響く鳴子に魅了された8人のメンバーは、「毎回の活動が待ち遠しい」と語ります。  
よさこいソーランといえば、チーム独自の衣装も魅力の一つ。右のすそにクラブ名が記された長はんてんは、動くたびにひらひらとひるがえり、踊りに花を添えます。また、鉢巻きにリボンや花を付けたリ、鳴子をシールで裝飾したり、個性的なアレンジも加えることができます。  
同クラブの皆さんは、桜ボンボリまつりなど市内外のイベントへの参加をはじめ、月2回程度老人ホームなどの福祉施設



設を積極的に訪問しています。福祉施設の訪問では、「見せることだけでなく、一緒に踊りを楽しむこと」が重要であると考え、鳴子を余分に持っていくことを忘れません。施設の入居者の皆さんに鳴子を渡し、一緒に手を動かしてもらったり、輪になって踊ったりするそうです。同クラブの皆さんは、「また来てね」という言葉が、私たちのパワーになります」と笑顔をこぼします。  
「今は既存の振り付けで踊っているけれど、いつかは曲も振り付けも行田オリジナルのよさこいソーランを作って、大勢の観客の前で踊りたいですね」と今後の目標を語るメンバーの皆さん。荒木地区に限らず興味を持った方は、同クラブの皆さんと一緒に、鳴子の音を響かせてみませんか。  
▼問い合わせ 新井 ☎557-1270